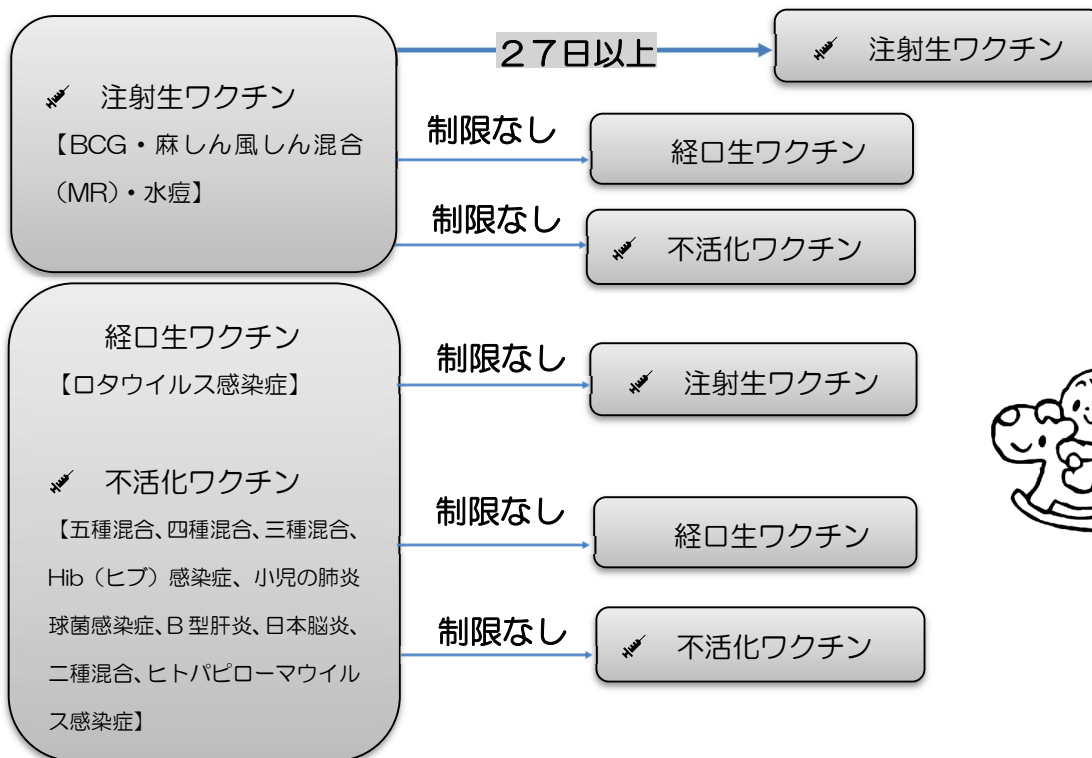


異なった種類のワクチンを接種する場合の間隔



*生ワクチン……生きた細胞やウイルスの毒素を弱めたもので、これを接種することによってその病気に（経口・注射）かかった場合と同じように抵抗力（免疫）ができます。

*不活化ワクチン……細菌やウイルスを殺し抵抗力（免疫）をつくるのに必要な成分を取り出して毒性をなくしてつくったものです。

具体的には・・・（例）

①5月1日（木）に注射の生ワクチンを接種した場合は、5月29日（木）に次の注射の生ワクチンが接種できます。

	日	月	火	水	木	金	土
生ワクチン接種日					①	2	3
5月	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	②29	30	31

次の注射のワクチンが接種できる日

②日本脳炎1期初回における2回の接種間隔6日から28日（1～4週間）までの間隔

	日	月	火	水	木	金	土
5月					①	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31

○：接種日 □：次の予防接種可能日
 ■ の間に2回目を接種

③四種混合ワクチン(ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ)1期初回における3回の接種間隔20日から56日（3～8週間）までの間隔

	日	月	火	水	木	金	土
8月						①	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
	31						
9月							
		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30				

○：接種日 □：次の予防接種可能日
 ■ の間に接種（1回目から2回目、2回目から3回目の考え方は同様になります。）